

メイトム宗像・プレイルーム移設と出入口の通行制限を実施

メイトム宗像内の子育て支援センターの増築工事に伴い、工事期間中、プレイルームを情報コーナー（正面玄関出入口そば）の一部へ移設するとともに、東側出入口（市民図書館えほんのへや横）を通行制限します。工事期間中の子育て支援センターの運営内容については、広報紙11月1日号でお知らせします。

●工事期間（予定）

10月下旬～平成24年3月下旬
*11月下旬以降、祝日と日曜日、毎月第2土曜日を除く土曜日は、現在のプレイルームを利

用可（休館日を除く）
*プレイルームは就学前の乳幼児と保護者が一緒にいる時のみ利用可
■問い合わせ先
市民活動交流室
☎（36）0311

むなかた農業体験イベント参加者募集

市内でグリーンツーリズムを実践している農家や市で組織する「ふるさと宗像ネットワーク」では、農業に対する理解を深めてもらうことを目的に、農業体験イベントを開催します。

●日時 10月29日（土）午前9時～午後1時
●集合場所 吉田公民館
●内容 稲刈、かけ干し体験など
*昼食付き

楽しいイベントが充実 宝くじの収益を地域活動に

吉武地区コミュニティ運営協議会が、財団法人自治総合センターの一般コミュニティ助成事業を活用して、イベント備品を購入しました。同事業は、宝くじの受託事業収入を財源に、地域活動の健全な発展を目的に実施するものです。

8月20日に夏まつりを開きました。
「今までは、あちこちから TENT を借りてイベントを実施していましたが、これからは他の事業と重なって TENT を借りられないこともなくなり、ますね」と同協議会の高山靖生事務局長。

高山市事務局長は「これからは、充実した備品を活用し、地元野菜市や観光案内など、さらにいろいろな事業にもチャレンジ



大勢の人でにぎわった夏まつり
購入した TENT も「大活躍」でした

■問い合わせ先
同協議会
☎（32）5904

市外で火葬した場 合、火葬料を助成

市では、利用者が少ないという理由で「友引の日」を火葬場の休業日に定めています。
しかし、最近では友引の日でも葬式をしたいという声があり、市では現在、火葬場の営業日数の拡大を検討しています。
そこで、市火葬場の休業日（1月1日を除く）に市外の火葬場で火葬をした場合に限り、市火葬

料との差額（上限7万円）の助成を開始しました。
*助成要件など詳しくは問い合わせを
■問い合わせ先
生活環境課
☎（36）1421

文化芸術活動事業

●主催 市盆栽協会
●日時 10月25日（火）午前9時～午後6時

盆栽園巡りバスハイク参加者募集

●目的 地 二山盆栽園（行橋市）、白石長楽園（築城町）、くぼて盆栽（豊前市）
●内容 職人さんの作業を見学して、日本の伝統文化・盆栽の魅力を味わいます
●対象 盆栽に興味のある人や盆栽を始めた人
●定員 先着40人
●参加費 3000円（バス代、高速代、昼食、入場料）
*バス乗り場は、申込時に確認を

■申込方法 10月22日（土）までに、同協会（井上）☎（33）4322へ電話で申し込む

国・県などから

Jr.サイエンス&ものづくりin教育大

●主催 福岡教育大学
●日時 11月3日（木）祝 午前10時～午後4時
●場所 同大学キャンパス（赤間文教町）

●内容 「科学」と「ものづくり」をテーマにした実験や実習
▽金属を溶かしてペーパーウエイトを作ろう
▽コロコロアイスクリームを作ろう
▽マイ箸を作ろうなど
●対象 小・中学生と保護者
●参加費 無料
*詳しくは同大学HP（p://www.fue.ac.jp/）を参照
■問い合わせ先
同大学連携推進課
☎（35）1238

太陽光発電で
全電気使用量の13%を発電
省エネに取り組む赤間コミセン

赤間地区コミュニティ・センター（赤間コミセン）に太陽光発電システムが設置されて1年以上が経過しました。東日本大震災や原発事故などで「節電・省エネ」が求められた今年の夏。赤間コミセンの太陽光発電の成果や省エネの取り組みなどを8月、市民記者が取材しました。

赤間コミセンでは昨年3月に、国の補助を受けて10kWの太陽光発電システムを設置しました。センターの屋上に48枚の太陽光パネルを設置。年間1万1,544kWの電力を発電し、赤間コミセン全電気使用量の約13%を太陽光発電で補いました。
これによって、約3,603kgのCO₂を削減したことになり、石油に換算すると約2,620ℓ、ドラム缶約13本分を削減したことになります。

赤間コミセンでは、「消費電力の前年比15%削減」を目指して照明を小まめに消すなど、来館者にも呼びかけて節電を心がけています。

また、館内の中庭には、ボランティアでゴーヤ25本を植えてグリーンカーテンを作っています。来館者を癒やすだけでなく、ゴーヤの収穫も楽しみにしています。

赤間コミセンの職員も、クールビズを心がけた服装やノーネクタイ、爽やかな笑顔での対応で、来館者に涼しさを提供しています。

同協議会の事務局長・太田繁勝さんは「太陽光で発電した電気を通路の照明やイベント時の音響、携帯の充電用コンセントなどに使用すると、来館者にも発電が具体的に見えらると思います。そうすれば、太陽光発電や省エネにもっと関心が高まると思う」と期待していました。（市民記者・岩元賢一）



屋上に設置された太陽光パネルを確認する太田さん



来館者に涼しい癒やしを与える
ゴーヤのグリーンカーテン

■問い合わせ先 同協議会 ☎（39）7051